

学校だより



春里



平成29年度 11月1日号

学校教育目標

「生きる力」の育成

【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う温かい心の生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、夢を持って行動する生徒

さいたま市立春里中学校

「春里中学校の生徒は・・・」

校長 松井秀史

4月に3年生が実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が出てきました。国語と数学の調査に関しては、本校の平均は、埼玉県の平均以上ではあるものの、さいたま市の平均には届かないというのが現状です。本調査ではもう一つ「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」があり、本校の生徒の特徴（3年生だけでなく1、2年生にも同じような傾向がみられると考えられます）をよく表しています。あくまでも平均値ですので各々に関しては個別に見ていく必要はありますが、春里中学校の教育の在り方について参考にしていこうと考えています。顕著なところでは「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と答えた生徒が全国平均71%さいたま市平均78%のところ春里中生平均82%でした。また「学校に行くのは楽しい(89%)」「自分には良いところがある(84%)」「将来の夢や目標を持っている(79%)」など肯定的な回答が全国やさいたま市の平均と比べて高い値でした。「自尊意識」をしっかり持ち、前向きに挑戦する春里中生が育っていることが分かります。また「今住んでいる地域の行事に参加している(25%)」「新聞を読んでいる(9%)」と答えた生徒は全国平均よりも大幅に少ないという傾向もわかりました。これらを参考にしてこれからも学校と保護者との連携を取りながら生徒たちの成長につなげられるよう御協力よろしくお願いたします。

運動部新人戦



さいたま市中学校新人体育大会が行われました。各会場で春里中生の頑張りが見られました。3年生が引退して2年生と1年生での新人戦でしたが、堂々と試合に臨む姿は立派なものでした。中学生の本業は「勉強」ですが、それだけではいけません。運動部に限らず「部活動」での経験は、人生の中で大いに役立つ経験・知識を得ることができます。学校内の部

活でなく学校外での習い事でも結構ですが、中学時代に何かに思い切り打ちこむ経験は貴重なものです。

合唱コンクール



10月21日(土)に市民会館おおみやで「合唱コンクール」を実施しました。早朝から放課後まで一生懸命練習に取り組み、本番で大きな舞台に立って緊張する中しっかり歌えたことは、生徒たちにとって貴重な経験となったようです。私は当日、生徒たちの歌声を聴きながら感動の涙があふれてきました。大舞台に立つ生徒たちはどのクラスも真剣でしっかりと力を発揮していました。この生徒たちの居る学校の校長として幸せを感じ「この学校のためにもっともっと努力していかななくては」と身の引き締まる思いがわいてきました。やはり1年生より2年生、2年生より3年生の合唱の方が上手でした。「一年間でこんなにも成長するのか!」と驚きでいっぱいになりました。特に3年生が堂々とクラスが一つになって歌い上げる姿は、本校の誇るべき先輩学年として、1・2年生への手本となってくれました。金賞等にかかわらずどの学級も立派にやり遂げました。春里中学校として自信と誇りを持てるレベルの高い合唱コンクールとなりました。当日応援に来ていただきました保護者の皆様、御家庭内で支えていただきました保護者の皆様、御協力ありがとうございました。

ちょっと一言・・・

新人戦で全力で試合に臨む姿や合唱コンクールで心一つにして真剣に歌う姿を見ていると、春里中学校の生徒たちを誇らしく感じます。そして、より一層良い学校にするために頑張ろう!と、力が湧いてきます。保護者、地域の皆さまと協力してもっともっと・・・。

